



1
 2016.1
 記録的
大雪

強い寒気の影響で、長崎県内は1月24日から25日にかけて大雪に見舞われました。学生が頼りにするバスや路面電車も終日運休するなど交通機関は麻痺。長崎大学も26日午前の授業まで休講になりました。長崎地方気象台によると、長崎市内の積雪は観測史上最大の17cm、24日の最高気温は零度を下回る真冬日となりました。長崎大学には周辺に暮らす学生たちが三々五々集まり、キャンパスのあちこちで雪合戦や雪だるま作りで熱中していました。学生たちの雪だるまは、雪が止んだあと1週間近く残っていたものもありました。

写真／経済学部



長崎大学核兵器廃絶研究センター
RECNA設置

2012年4月、「核兵器廃絶」を名称に冠した日本で初めての公的な研究組織、「長崎大学核兵器廃絶研究センター（Research Center for Nuclear Weapons Abolitions：RECNA）」が設置されました。RECNAは、国際的な核軍縮・不拡散の動向について学術的・客観的な調査・研究を実施し、学術研究の拠点となることを目指しています。長崎大学は世界唯一の被爆医科大学の歴史を継承する大学であり、「核なき世界の実現」は大学にとっても重要な課題です。長崎県や長崎市と連携し、3年続けて学生たちをNPT（核不拡散条約）再検討会議に派遣するなど、「長崎を最後の被爆地に」の願いを具体化できる人材の育成を目指しています。

山田洋次監督作品「母と暮せば」は、原爆投下から3年後に、生き残った母親の前に犠牲になった息子の亡霊が現れるというストーリーです。息子役の「嵐」の二宮和也さんが長崎医科大学学生という設定だったご縁で、2015年12月に医学部記念講堂で開かれた山田監督の特別講義には、母親役の吉永小百合さんと二宮さんがゲストとして駆けつけ、会場を埋め尽くした医学生たちからは黄色い声が上がりました。参加できなかった学生たちからは、「講義を休んでも講演に行きたかった」と嘆く者も…。医学部良順会館での公開記念企画展や、山田監督と下川功医学部長の対談など大学も大いに盛り上がりしました。

長崎を舞台にした映画
「母と暮せば」

2015.12



多文化社会学部 開設

2009年に設置構想が持ち上がった多文化社会学部が、2014年4月に開設されました。これまで長崎大学になかった人文社会系の学部として、政治・経済、文化、社会活動分野等で存在感をもって国際的に活躍できるグローバル人材の育成を目指しています。2015年4月には国際学寮ホルテンシアが完成、1年生は入学時から原則1年間、留学生とともに生活します。2016年4月で3年目を迎える多文化社会学部の成長にご注目ください。

**中央図書館
 リニューアル!**



1年間の改修工事が終わり、2013年4月、文教キャンパスにある中央図書館が生まれ変わりました。入口が2階から1階に移されてバリアフリー化。外壁もガラス張りになり、スタイリッシュな印象になりました。館内も大きく変化し、「積極的にディスカッションしてほしい」という思いで1階に新設された空間、「ラーニングコモンズ」は、勉学を深める新たな起爆剤になっています。個人学習ができるスペースも100席増え、より多くの人が集中した環境で学習・読書ができるようになりました。

恐ろしい感染症
エボラ出血熱



2014年、熱帯医学研究所の安田二郎教授らがエボラウイルス病の迅速診断キットを東芝と共同開発しました。この診断キットを用いると、従来の診断方法のよりも大幅に時間を短縮でき、約20分で感染の有無を調べられます。日本政府は2015年、前年からの流行が収まらない西アフリカのギニアに、8セット8000人分を2回に分けて無償提供し、ギニア政府からも高く評価されました。



グローバル棟完成

学生支援課や国際教育リエゾン機構が入る「グローバル教育・学生支援棟」。2012年に完成し、4階にある「文教スカイホール」は同年12月に名称が決定しました。今年で4歳になる同棟は現在、毎日多くの学生に利用され、長大生にとって学生生活に必要な不可欠な存在になっています。

ジェームズ・2014.1
ワトソン博士来学

DNAの二重らせん構造の発見で、フランス・クリック氏らとともに1962年にノーベル生理学・医学賞を受賞したジェームズ・ワトソン博士が片峰茂学長の招きで来学、特別記念講演が行われました。講演では、教職員・学生ら約700人を前に「世界に出て仲間を作り、科学に取り組む喜びを感じてほしい」との言葉をいただきました。



9
モジュール方式の導入

長崎大学では2012年4月に、「モジュール方式」の教養教育を導入しました。従来のように、さまざまな科目の中から学生たちが一つひとつ自由に授業を選ぶのではなく、現代的な課題を理解するために、複数の講義で構成される授業科目群（モジュール）の中から一つを選び学習することで、個々のテーマに関する多角的な見方を養う力が身につきます。

2012.4

映画 2015.3
風に立つライオン

2015年3月に公開された映画「風に立つライオン」。主人公のモデルになったのは、1970年代にケニアでの医療活動に従事した長崎大学の医師という縁もあり、医療技術協力のほかケニアロケのサポートやロケ地の提供なども行いました。映画の公開前には、主演の大沢たかおさんと片峰茂学長との対談も行われました。

